

## 「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和2年度採択）

## 中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-5	車道基本の自転車通行環境整備による交通事故特性と新たな道路交通安全改善策に関する研究開発	大阪公立大学大学院 准教授 吉田 長裕	A
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>自転車の車道走行と広域化に伴う事故特性を把握し、自動車・自転車のコンフリクトを再現する仮想道路空間実験による科学的知見に基づき、新たな道路交通安全改善策とともに持続可能な安全の段階的向上策を提案する。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <p>サイクルシミュレータ等を用いた斬新かつ精緻な手法による分析が進められている。得られた成果を基に、具体的かつ現場実装が可能な自転車交通安全対策がとりまとめられることを期待する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 成果のとりまとめや新たな交通安全対策の提案にあたっては、道路の計画や設計段階にどのように反映させるかを意識して、その概要や特徴の整理にとどまらず、幅員等の諸元・適用条件や設計上の留意点を整理していただくか、もしくは各現場において最適な諸元や適用条件を導出するための検討方法（仮想空間での実験方法）を整理していただきたい。対策の有効性（定量的な効果等）も整理していただきたい。</li><li>2. 2種類の協調型サイクルシミュレータについて、同じ実験対象・実験条件での比較により、特徴や利用条件等の整理ができると、今後シミュレーションの活用を検討する際の参考になると思われる。</li><li>3. 国際会議・国際ジャーナル等でさらに積極的な情報発信を進めていただきたい。</li></ol>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第47回新道路技術会議において審議したものである。